

議会だより

9号



サクラサク

- 3月定例会…………… 2
- 常任委員会の動き …… 5
- 一般質問 …………… 7
- 各種委員会報告 …… 9
- 委員会の構成が一部
変わりました …… 12
- 副議長あいさつ …… 12
- 編集後記 …………… 12

3月定例会 (3月7日～23日)

平成24年度

当初予算決まる

3月定例会は、3月7日から3月23日まで17日間の日程で開かれました。23年度一般会計補正予算、24年度一般会計予算など32の議案、予算関係は、予算決算常任委員会、条例その他議案については、総務文教及び産業厚生各常任委員会で審議の上、いずれも原案どおり全員賛成で可決しました。「緊急事態基本法の早期制定を求める意見書」など意見書2件の提出を可決。大飯原発3、4号機の再稼動に反対表明を求める陳情を不採択とし、固定資産評価委員として藤田昌稔氏、木下美佐江氏の選任に同意しました。

平成23年度 一般会計3月補正予算概要

予算規模	補正 予算額	539,140千円	補正後 予算総額	9,332,479千円
(参考) 前年同期	補正 予算額	1,628,609千円	補正後 予算総額	8,877,774千円

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位：千円)

款	補正額	主要事項	金額	参考
議会費	194,367	公有財産購入費	142,250	町村開発公社が解散することより、借入金を一括繰上償還する。
		公共施設維持補修基金積立金	60,918	公共施設の修繕その他の維持補修に要する資金を積立てる。
民生費	15,065	子ども手当	▲14,000	▲子ども手当制度の改正及び受給者数の減少による手当の減額。
		せせらぎ保育園建築工事費	▲24,643	▲入札差金
		みずうみ保育園整備基金積立金	85,050	みずうみ保育園整備に必要な資金を積立てる。
		介護保険事業特別会計操出	▲5,978	▲事務費操出 (-5,879) → システム改修補助金増 (2,773) 等
衛生費	▲30,726	診療所事業特別会計操出	▲17,460	▲診療所人件費に電源交付金を充当したことによる操出金の減額。
		美浜・三方環境衛生組合負担金	▲7,461	▲決算(繰越金・不用額)確定 予算額(341,742)⇒確定額(334,281)
土木費	124,619	若者定住化対策基金積立金	90,000	人口増加及び定住促進に必要な資金を積立てる。
		除雪作業委託料	35,000	除雪に要する経費を増額する。
消防費	83,152	災害に強いまちづくり基金積立金	80,000	災害に強いまちづくりに必要な資金を積立てる。
教育費	171,794	北山法夫学校教育振興基金積立金	5,000	故北山法夫氏の篤志を中学校教育振興のための基金として積立てる。
		生涯学習センター整備基金積立金	200,000	生涯学習センターの整備に必要な資金を積立てる。

補正予算

●平成23年度一般会計補正予算 (第5号)

公有財産購入費や各種の目的基金を積み立てるため、5億3,914万円を追加し歳入歳出予算の総額を93億3,248万円とするものです。

●平成23年度診療所事業

特別会計補正予算(第2号)

●平成23年度国民健康保険事業

特別会計補正予算(第3号)

レセプトオンライン化分担金等89万円を追加し歳入歳出予算の総額を14億5,898万円とするものです。

●平成23年度後期高齢者医療

特別会計補正予算(第2号)

広域連合納付金374万円を追加し歳入歳出予算の総額を1億1,172万円とするものです。

●平成23年度介護保険事業

特別会計補正予算(第3号)

介護保険事業勘定669万円・介護サービス事業勘定△56万円を追加し歳入歳出の総額を10億3,285万円とするものです。

●平成23年度簡易水道事業

特別会計事業特別会計

補正予算(第2号)

丹生、竹波簡易水道施設改良事業基金積立金5,000万円を追加し歳入歳出予算の総額を1億95万円とするものです。

平成24年度 一般会計予算概要

予算規模	予算額	6,554,597千円	前年度比	▲909,251千円(12.2%減)
------	-----	-------------	------	--------------------

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:千円)

款	補正額	主要事項	金額	参考
総務費	984,243	地域コミュニティバス運行事業	33,470	・3路線運行業務委託(31,000)等
		《すくすく美浜っ子サポート事業》すくすく美浜っ子サポート基金積立金	7,500	すくすく美浜っ子サポート事業の円滑な運営を図るため基金を積立てる。
		町税過誤納還付金	218,516	前年度予定納税された法人町民税の還付金を計上する。
民生費	1,581,866	《すくすく美浜っ子サポート事業》心身障がい者(児)医療無料化対策事業	66,834	心身障がい者(児)の福祉増進のため、医療費の一部を助成する。
		居宅介護事業	16,200	入浴等の介護に要する費用を負担する。
		就労継続支援事業	46,402	障がい者等に働く場を提供し職能訓練等を行う事業所等を支援する。
		就労移行支援事業	25,800	障がい者の一般企業への就労支援を行う施設等に対し、費用の一部を負担する。
		生活介護事業	79,374	障がい者の創作・生産活動機会の提供を支援する。
		施設入所支援事業	29,545	障がい者の入浴等介護に要する費用を支援する。
		ケアホーム事業	11,920	知的障がい者ケアホームが行う入浴や食事等の介護に要する費用を負担する。
		地域生活支援事業	16,665	障がい者の自立を支援する。
		《すくすく美浜っ子サポート事業》子ども医療費助成事業	31,311	中学校修了までの子どもに係る医療費を助成する。
		子ども手当	156,313	中学校修了までの子どもを養育する者に手当(最高1万5千円)を支給する。
		みずうみ保育園整備事業	70,331	・調査及び設計業務(25,225) ・敷地造成工事(44,625)等
		老人保護措置事業	12,345	在宅介護等ができない高齢者を養護老人ホームに措置する。
		衛生費	3,439	妊婦健康診査事業
《すくすく美浜っ子サポート事業》感染予防事業	24,723			各種予防接種と検診を実施するほか、感染予防用品を常備する。
農林水産業費	3,439	有害鳥獣対策事業	17,377	・嶺南焼却処理施設負担金(1,430) ・有害鳥獣捕獲報奨金(13,269)等
		食育・食農教育推進事業	2,671	地元の小学生を対象に農業体験等の機会を提供する。
		松くい虫被害総合対策事業	13,077	航空防除、被害木の伐倒駆除、被害調査等を行う。
商工費	3,439	はあとふる体験推進事業	8,454	NPO法人はあとふる美浜ネットワークに対して人件費等を補助する。
		若狭美浜観光PR事業	21,472	※観光PR映画「サクラサク」制作出資金(20,000)等
土木費	3,439	道路維持事業	31,120	・町道維持補修工事(30,000) ・測量設計業務委託(1,000)等
		舞鶴若狭自動車道関連整備事業	11,850	舞若道整備に関連する集落道路舗装と水路改修を受託事業として行う。
消防費	3,439	敦賀・美浜消防組合負担金	235,342	美浜消防署職員人件費及び本部庁舎共通経費。
		自主防災組織整備事業	2,600	・資機材購入補助(2,000) ・自主防災組織設置補助(600)
教育費	3,439	《すくすく美浜っ子サポート事業》放課後児童クラブ事業	6,052	小学校低学年の児童を対象に、南市児童館等において児童クラブを開設する。
		生涯学習センター建設事業	890,751	・建設工事、機械等工事(664,684) ・備品購入(211,017)等
		国吉城址史跡調査及び公園整備事業	6,817	国吉城址の学術的確認調査、環境整備検討委員会設置、施設保全整備等を行う。
		美浜・五木ひろしまラソン開催事業	16,879	第24回大会経費(※夫婦の部新設) ・器具等借上料(6,077)等
議会費	3,439	総合運動公園管理費	37,292	・設備点検等業務委託料(21,844) ・非常勤賃金(3,972)等
		給食センター管理運営費	94,827	・材料費(40,210) ・調理業務委託(35,000)等

当初予算

●平成24年度一般会計予算

歳入歳出予算の総額65億5,460万円で、前年度に比べ12.2%と減となりました。自主財源は51.6%となり、48.4%は国・県からの補助金、交付金で依存財源となっています。

●平成24年度診療所事業

特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億8,283万円となり、前年度と比較し257万円の増(対前年度比1.4%増)となっています。

●平成24年度国民健康保険事業

特別会計予算

歳入歳出それぞれ13億3,201万円となり、前年度と比較して2,445万円の増(対前年度比1.9%増)となっています。

●平成24年度後期高齢者医療事業

特別会計予算

歳入歳出それぞれ1億710万円となり、前年度と比較して17万円の増(対前年度比0.2%増)となっています。

●平成24年度介護保険事業

特別会計予算

歳入歳出それぞれ11億2,410万円(介護保険事業勘定11億1,712万円・介護サービス勘定698万円)となり、前年度と比較して1億2,040万円の増(対前年度比12.0%増)となっています。

●平成24年度簡易水道事業

特別会計予算

歳入歳出それぞれ1億538万円と

なり、前年度と比較して5,731万円の増(対前年度比119.2%増)となっております。

●平成24年度集落排水処理事業

特別会計予算

歳入歳出それぞれ1億9,697万円となり、前年度と比較して2,177万円の増(対前年度比12.4%増)となっております。

●平成24年度公共下水道事業

特別会計予算

歳入歳出それぞれ4億8,647万円となり、前年度と比較して2,414万円の減(対前年度比4.7%減)となっております。

●平成24年度上水道事業会計予算

収益的収入・資本的支出の合計1億8,576万円となり、前年度と比較して751万円減(対前年度比3.9%減)となっております。



生涯学習センター「なびあす」の工事風景

条例案件

●特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

●一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定を踏まえ改正するものです。

●みずうみ保育園整備基金条例の一部改正

一部改正

積立てる基金の財源である電源立地地域対策交付金の規則が改正されたことにより改正するものです。

●公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

公民館運営審議会の委員の委嘱・任命基準を条例で明記するものです。

●介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

旧新庄保育所の改修工事が完了し、高齢者福祉拠点施設として活用するために「美浜町介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例」の題名及び条文を改正するものです。

●心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正
児童福祉法の改正に伴い改正するものです。

●介護保険条例の一部改正
平成24年度から平成26年度までの各年度における保険料率を定める必要があるため改正するものです。

●美浜町営住宅管理条例の一部改正

共営住宅法の改正に伴い入居者の資格等について改正するものです。



美浜町金山に完成した特別養護老人ホーム「やはず苑」

●暴力団排除条例の制定

町民、事業者、行政が一体となり、社会から暴力団を排除し町民の安全・安心な生活の確保と社会経済活動の健全な発展のため条例を制定するものです。

●若者定住化対策基金条例の制定

若者の定住化対策に必要な資金を積み立てるために制定するものです。

●災害に強いまちづくり基金条例の制定

災害に強いまちづくりに必要な資金を積み立てるために制定するものです。

●北山法夫中学校教育振興基金条例の制定

故北山法夫氏の遺志を尊重し、中学校教育振興のため必要な資金を積み立てるため制定するものです。

●公共施設維持補修基金条例の制定

公共施設維持補修基金に必要な資金を積み立てるために制定するものです。

●生涯学習センター整備基金条例の制定

生涯学習センターの整備に必要な資金を積み立てるために制定するものです。

●丹生・竹波簡易水道施設改良事業基金条例の制定

丹生・竹波簡易水道施設改良事業に必要な資金を積み立てるために制定するものです。



高島市食肉加工施設「朽木ゴールドもみじ」

常任委員会の動き

3月定例会は新しく設置された予算決算常任委員会をはじめ、従来の総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会が開催され、各々付託案件の審査が行われた。それぞれの質疑応答、意見要請を紙面の関係で抜粋して報告いたします。

予算決算 常任委員会

15件
付託

○平成23年度美浜町一般会計 補正予算(第5号) 〈歳出全般〉

問 公有財産購入費の対象地はどこか、又長期にわたって放置されているのではないか。

答 大藪、雲谷、松原の3地区である。今後、のり子負担を考慮したい。財政状況と照らし合わせて有効活用をしていきたい。

問 公共施設維持補修基金積立金の対象施設と基金の使途計画について聞かせてください。

答 庁舎及びその付帯施設を除く、学校教育施設、社会教育施設、福祉施設等町が管理する公共施設であるが、使途、規約については今後決めていく。

問 せせらぎ保育園建設工事費の差金があるが、周辺環境の整備が遅れているのではないか。それらの資金に付けないのか。

答 発注した範囲の保育園工事は完了した。県道、駐車場等周辺環境は交渉中である。資金は別と考えている。

問 県単小規模農地廃地治山事業工事費減の理由は。

答 対象地区が2ヶ所から1ヶ所に減ったためである。

問 除雪対策費の総計と状況は。

答 当初予算1,600万円プラス補正3,500万円の合計5,100万円。町内23社に委託、個人払い費用を含む。河川からの融雪水導入は場所にも関係し、今後検討をする。

〈歳入全般〉

問 核燃料税の減収による嶺南広域行政組合への交付金に影響はあるのか。

答 組合から本町への補助金については影響がなかったが、組合の歳入としての核燃料税は減額されている。

問 町民税からの歳入が増えているが内容は。

答 町税が増えた事ではなく、予算額の全体から留保されている町税を補正で充当したことによるものである。

問 平成23年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第2号)

問 平成23年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 平成23年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

問 後期高齢者医療広域連合納付金の町からの持ち出しは変わっていないか。

答 美浜町の負担金は900万円が変わっていない。

問 平成23年度美浜町介護保険医療事業特別会計補正予算(第3号)

問 居宅サービス介護を実際に請け負っている事業所はどこか。

答 敦賀のリハプラスである。

問 平成23年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

問 平成24年度美浜町一般会計予算の質疑は有りませんでした。

歳出

〈総務費〉

問 男女共同参画事業の平成24年度の取り組み内容を説明してください。

答 町民と集落に対し実施したアンケート調査の結果を踏まえ、役場内の審議会も含めて方向性を出して行きたい。

問 みはま女性ネットワークの運営の見直し、資金の支払いの簡便化をお願いしたい。

答 検討をして、随時対応をして行く。

問 ときめき出合いサポート事業の状況を。

答 4つの事業を年6回開催して、200人位の参加を頂いている。

問 敬老会の対象者を、同級生は同年に含めたのは評価出来る。今後も継続か。

答 今後、毎年4月1日を区切りとして行く。

問 火葬場各種設備等業務委託の実績は。

答 平成23年度は現在で利用者は77件で、町内葬儀件数の50%である。

問 農林水産費

問 有害獣恒久柵近傍の松くい虫の枯れ松は、防除事業に含まれるのか。

答 防除事業とは別で集落ごとの対応となる。

問 恒久柵の形態で、軽量、安価で敷設が容易なものがあるが採用の可否は。

答 今年度の予算獲得後、集落に説明し、判断していく。

問 〈商工費〉

問 町観光協会等育成補助について、効果は出ているのか。

答 組織強化のため、外部目録でも見て頂くような活動もして行く。

問 〈土木費〉

問 舞鶴若狭道関連整備事業の内容は。

〈教育費〉

問 高速道路の通過に関連して、既存道路用排水路等の移設、敷設に関する事業。

答 国道27号線の拡幅工事の進捗状況は。工事は3区間に分割して実施する。1/3が済み、2区間目に入る所である。

問 教職員健康管理検査手数料があるが、現状で長い残業により精神的に悩んでいる教員がいると聞いているが対応は。

答 早く帰るよう指導しているが、状況も確認して今後、対応策を検討する。

問 埋蔵文化財緊急調査事業の内容は

答 興道寺廃寺はこれまで13次の調査を行い貴重な資料が出ていて、資料をまとめるの史料指定の準備をしている。国吉城本丸の調査を継続する。

問 生涯学習センターの備品、ピアノの発注は済ませたのか。

答 発注はしていない、購入を前提とした商談は実施している。

意見 当初計画をよく検証し、町民に親しまれる備品調達をするように。

問 平成24年度美浜町診療所事業特別会計予算

問 年間利用者数は

答 健康診断等を除き、東部500人、丹生190人で地区民が主である。

問 平成24年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

問 国民健康保険の被保険者の減は後期高齢者医療への移行か。

答 後期高齢者医療と、社会保険への移行である。

問 平成24年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

問 の質疑は有りませんでした。

問 平成24年度美浜町介護保険事業特別会計予算

問 の質疑は有りませんでした。

問 平成24年度美浜町一般会計予算

問 の質疑は有りませんでした。

問 保険料が800円上がるが、それに対するサービスの向上は。

答 ①認知症の予防とサポート②一次、二次予防活動充実③ケアマネの研修育成を行う。

問 ◎平成24年度美浜町簡易水道事業特別会計予算の質疑は有りませんか。

答 ◎平成24年度美浜町集落排水事業特別会計予算 借入金金の金利に応じた有利な借り換えは適正にやっているのか。

問 ◎平成24年度美浜町公共下水道事業特別会計予算 借入時の最高金利は5.5%、借り換えは適宜実施している。

答 ◎平成24年度美浜町公共下水道事業特別会計予算 質疑は有りませんでした。

**総務文教
常任委員会
付帯案件9件
意見書2件**

問 ◎美浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

答 鳥獣被害対策実施隊の人数は充分なのか。捕獲員は60数名、そのうち経験等により6名の実施隊を置いている。更に充実していきたい。

問 ◎美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

答 条例制定の意味は。人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定を踏まえ、給与構造改革期間中に抑制されてきた給与を回復する事にある。

問 ◎美浜町税条例の一部を改正する条例の制定

答 個人税の均等割り500円の上積みの結果はいくらに相当するか。対象者4,957人で、約250万円の増加となる。

問 たばこ税の配分割合はどうなるのか。

答 国50%（特別税含む）、県7.02%、町42.98%となり、町の比率が増える。

問 ◎美浜町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

答 ◎美浜町暴力団排除条例の制定 質疑は特に有りませんでした。

問 ◎美浜町災害に強いまちづくり基金条例の制定

答 基金積み立ての目的と内容は。自主防災組織、消防関係施設等資機材の充実や、避難誘導看板等の充実を図りたい。

問 ◎北山法夫中学校教育振興基金条例の制定

答 ◎美浜町公共施設維持補修基金条例の制定 質疑は特に有りませんでした。

問 ◎美浜町公共施設維持補修基金条例の制定

答 対象施設、基金の使用条件等の計画について。

問 ◎美浜町生涯学習センター整備基金条例の制定

答 対象施設は30近くあり、今後補修が増加する。使用の方、規約について4月から検討に入る。

問 ◎美浜町生涯学習センター整備基金条例の制定

答 大飯原子力発電所3,4号機の再稼働に議会として反対を表明する事を求める要請について

問 ◎美浜町生涯学習センター整備基金条例の制定

答 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の採択を求める陳情について

問 ◎美浜町生涯学習センター整備基金条例の制定

答 賛成意見…国が動く為には法律の制定を急ぐ必要がある。

問 ◎美浜町生涯学習センター整備基金条例の制定

答 賛成多数で意見書提出を決定。

**産業厚生
常任委員会
8件付託
意見書3件**

問 ◎美浜町みずつみ保育園整備基金条例の一部を改正する条例の制定

答 ◎美浜町介護予防施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

問 ◎美浜町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

答 ◎美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定 質疑は有りませんでした。

問 ◎美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

答 今回介護保険料が上がるが、いまだに要介護施設への待機者がいる事をどう考えているのか。

問 ◎美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

答 特別養護老人ホームの入居希望者で17名の待機者がいるが、「やはす苑」が完成したことで、解消されると考えている。

問 ◎美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

答 4月から保険料の設定が8段階に分けられるが、当町で最高8の段階におられる人の人数と全体に占める割合は。

問 ◎美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

答 対象は97人、3%に当たる。

問 ◎美浜町営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定

答 ◎美浜町営住宅条例の一部を改正する条例の制定 質疑は有りませんでした。

問 ◎美浜町営住宅条例の一部を改正する条例の制定

答 老朽化している町営住宅は早期に集約して、整備していく必要があると考えるが今後どうするか。

問 ◎美浜町営住宅条例の一部を改正する条例の制定

答 移転のお願い等は繰り返し実施している。耐震診断については法律の範囲で実施していく。又現時点で増設は考えていない。

問 ◎美浜町若者定住化対策基金条例の制定

答 「特別の事情のある方の場合」に限り、条例で25万9千円までの規制緩和が可能と考えるが、「公営住宅法」の限度額は変更できない。

り組んでいる所もあるが決して成功例が多いわけではない。美浜町に適した手法が必要だと考えるが。

問 ◎美浜町丹生・竹波簡易水道施設改良事業基金条例の制定

答 庁舎内で横断的に検討することになるが、意見を参考としたい。

問 ◎美浜町丹生・竹波簡易水道施設改良事業基金条例の制定

答 工事は一昨年開始、現在中断となっているが、今後の見通しはどうか。計画は22年度から25年度となっている。出来るだけこれを守りたいが資金の事情で遅れる事もありうる。

意見 以前、町の監査委員の現地視察で丹生・竹波の簡易水道施設の劣悪状況を指摘している。水は生活に重要な問題である。早期対応をお願いする。

意見書要請(1) 公的年金の改善に反対する意見書を求める陳情について

反対意見…以前の優遇措置を元に戻す事であり、国の財政状況を踏まえ、やむを得ない措置である。

賛成意見は無く、意見書を提出しない事を決定。

意見書要請(2) 障害者総合福祉法の制定等に関する国への意見書提出を求める陳情書について

賛成意見は無く、意見書を提出しない事を決定。

意見書要請(3) TPP交渉への参加反対に関する要請書について

賛成意見…地場産業の米の流通をはかり、農業者の保護のため採択は必要

国内で意見が分かれていて、難しい問題であるが、過去にも採択している問題でもあり、今回も採択すべきである。

右記意見により、意見書を提出することに決定。

一般質問

3月定例会では3人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。
質問、返答については質問者の文責で掲載しております。



浜野 健治 議員

美浜町の将来を見つめエネルギー施策と財源施策を問う。

問

エネルギー施策は従来の継承。財政計画は今後慎重に。

答

『エネルギー対策』

問 町長として、原子力発電所について基本的な考えをお聞かせください。リプレースの要望、経年寿命達成後の財源確保の計画について。

答 今後とも発電所との共生の考えは変わらない。立地以来、国のエネルギー政策に協力してきた。今後も国の資源課題、地球環境課題の一助を担っていくつもりである。そのために、より一層の安全・安心対策と原子力災害制圧道路の早期完成を要求していく。廃棄物の中間貯蔵施設については、県と企業は県外を前提としているが、町議会の議決は重く受け止めて

いる。

問

発電所の定期点検後の停止が長引く中で、関連企業の雇用確保のための補助制度は検討されているのか。

答

定期検査は3月末で全て終了する。関係する社員450人、協力事業所1,000人、更には定検時のプラス1,000人の雇用が直接、間接に美浜町の経済に与える影響は大きい。又、原子力技術の継承にも響いてくる。当面、工事の前倒しや、国の雇用調整交付金等で対処していく。

問

県はエネルギーの多角化をめざし1市町1エネルギーの取り組みに着手すると言っているが、美浜町として小水力等、対象となる検討課題があるのかどうかをお聞きたい。

答

町では過去風力発電の検討をした実績はある。今回のエネルギーの多角化の検討については規模の大小、投資効果、経済的波及効果等考える必要がある。対象は風力、小水力、太陽熱等考えているが、バイオマスは無理だろうと考える。検討委員会を立ち上げ推進したい。

問

いわゆる原子力防災制圧道路について、その機能は多数あるはずで、幅広く活用できるのが理想である。全体構想と細部についてお聞きし

たい。

答

馬背トンネルも国の資金で実施した。今回のバイパスの調査検討ルートを示して頂いた。集落を繋ぐ道路も含んでいるので協力をお願いしたい。

問

放射能等の影響のない安全な震災ガレキの受け入れの可能性についてお聞きしたい。

答

美浜・三方環境衛生組合の焼却炉はガス化熔融炉で、ガレキの焼却には適していない。又、年間利用率も高く、余裕がない状態である。

問

電力関連の交付金や、税収が厳しい環境の中で、平成24年美浜町の当初予算編成で力を入れた点をお聞きたい。

答

保育園、学校の改修計画も終盤を迎えた、生涯学習センター、健康福祉事業の充実、商工業の活性化に力点を置いた。

問

原電3法交付金の今後の予測と使途について、今後の中期振興計画に影響はありますかお聞きたい。

答

平成26年度以降は見通せない状況である。現状維持と見て、6割は財政の維持管理資金として、4割を建設的な資金として運用していきたい

い。中期振興計画は、状況を見据えて慎重に対処する。

意見

今後とも堅実で安定的な財政運営の為、中長期財政計画を策定、推進していただきたい。



松坂 隆司 議員

原子力政策に対する美浜町の将来対応について問う。

問

情報収集も含め、今後の対応を検討していく。

答

問

町の財政健全化について。

答

交付金は依存財源になるが、極力使用拡大を含め経常的なものを使い、今後も国に要請しながらやっていく。基金などを充当しながら、より弾力性を持たせる方法が必要になる。今後、建設的なものは先が見え、今までより要望は少なくなると考えている。

一 般 質 問

3月定例会では3人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。
質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

問 町の借金をどう減らすか今後の対応について。

答 地方債は一般会計、各特別会計、一部事務組合を含めて相当あるが、一般財源での返済ピークは過ぎている。今後、大きな起債が必要な建設は予定していない。生涯学習センターも起債では増えるものではなく順調に償還していけると考えている。

問 新たな財源確保と町の方向性について。

答 ①行政の公平性から税の収入、使用料の完納を徹底する。
②今まで支出してきた経費を精査し、財源は歳出を抑える。

③国県と補助金の制度を調査し、町がやるべき事業に準備する。

第3次美浜町の行財政改革大綱に基づき、財源確保、業務上の適正化、行財政改革を含め後期計画として検討する。

問 美浜原発再稼働に対する町の考え方について。

答 推進という立場で発信している。安全委員会から国に示され、安全宣言し地元の条件として福島の間定基準、道路の問題、暫定基準の内容も連携しながら議会や監視委員会と相談し、同意をいただき地元としての態度を確認した後に、県と相談をしていきたいと考えている。

問 再稼働が長期化した場合の町のリスクについて。

答 地元の考え方がまとまらずに長期化させる事は、避けたいと思っている。議会とも相談し意見を聞きながら動いていきたい。

問 リプレース・そして将来の廃炉措置に対する町の対応について。

答 リプレースを含む推進で進んでいる。今すぐどうかという事は考えがまとまっていないので廃炉の対策というようなことは、情報も集めてはいるが、こういう場所ですべては控えさせてほしい。

問 中間貯蔵施設等放射性廃棄物処理施設について。

答 中間貯蔵施設は必要であると考えている。今の管理区域外に貯蔵施設を設けて初めて中間貯蔵施設という定義の中で、今後のエネルギー対策と福島の知見を活かした安全対策上という考え方も出てきたので検討していく必要があると考えている。

問 使用済み核燃料地層処分等について。

答 最終処分場も含めて国の支援の下、国民的な理解が必要。国もそういう動きをされていくと期待をしている。理解の上に立つて中間貯蔵も県の理解が得られていく必要がある。



兵庫 賢一 議員

問 防災対策の強化と高齢者対応を盛り込んで。

答 国県の基準に従い、更に美浜の事情に合わせ実施する。

問 東日本大震災後の美浜町の防災計画について、強化を図られていると思うが、計画と進捗状況についてお伺いしたい。

答 津波については、我町は経験がないので他の地域から学ぶ必要がある。防災・安全対策は非常に重要なので、平成23年度から担当を総務課に持ってきた。地震は阪神淡路大震災を教訓にと考えたが、津波は国が基準を示してくれて県と町が対応しながら防災対策を練っていく必要がある。現在国から県の方へおりにきてきている状況である。24年度一杯はかかる。

問 避難指示・避難勧告などの専門用語を行政と住民とで認識を共有する必要がある。町民の高齢化率が上がっている中でより身近な避難施設が必要だが、その類の施設は老朽化し耐震性に問題がある。集落のセンターは地域のコミュニティセンター・避難施設として整備する必要があると考えるが。

答 町の防災対策上重要だと認識している。町の施設、各集落センターで71箇所の避難所があり、耐震基準の改正以前に建築されたのが25箇所ある。それらを重点的にやる必要がある。耐震診断の結果を踏まえ、避難所としては災害の種類に応じた避難所を徹底して行く必要があるが、人が多く集まる施設であり区と個別に相談していく必要がある。

問 施設をトイレ増設とか高齢化対策のためにも改修して行くことが必要であり、景気対策にもなると考えるが。

答 区の施設のトイレの洋式化は町が補助をしながらか進めている。明確な調査結果がでたら、町の財政を考慮しながらバリアフリー化等、区と相談しながら進めて行きたい思いはある。

問 区の施設のトイレの洋式化は町が補助をしながらか進めている。

答 明確な調査結果がでたら、町の財政を考慮しながらバリアフリー化等、区と相談しながら進めて行きたい思いはある。

各種委員会報告

議会活性化特別委員会

近年、地方分権の動向を反映して各市町村議会は議会活性化の動きが活発化している。美浜町議会も分権時代にふさわしい議会をめざして議会活動の活性化と充実、資質の向上のために必要な事項を検討し、町民からより信頼される議会をめざして議会活性化特別委員会を平成22年12月に設置し、ここまで10回の委員会と、2回の研修会を実施して、活発な議論を行ってきました。すべてをまとめ、基本条例化するにはまだ時間が必要と考え、出来る事から実行する事として、中間まとめを2月6日実施しました。主な点は議会の情報公開、議会報告会の実施、一般質問の一回一答方式、予算決算常任委員会の設置等であり、3月1日、議長、議会運営委員長に「第一次中間答申書」を提出しました。今後も更に議会の充実を目指して議論を重ねていく予定です。(浜野記)

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会活性化委員会の議論を受けて、取り入れるべき課題を

議会に反映すべく、平成23年度は頻繁に開催しました。その中の一つは、議会の会期を早期に決定し、期間中の日程を調整しました。次に予算決算常任委員会を設置したことにより、付託案件の取り扱いを変更しました。更に一般質問の方法を一問一答方式に変更したことを受けて、議場のレイアウト変更を承認しました。

今後も議会活性化委員会等で活発な議論を経て決定したことを議会に取り入れ、単に議会日程を決めるのみにとらわれず、議会を活性、充実するために議会運営委員会の機能を活かしていきます。(山口記)

原子力特別委員会

2月6日、委員全員出席のもと原子力特別委員会を開催されました。最初に、去る1月19日議長、副議長、原特委員長、副委員長、及び町長の5名と原子力対策室長が中央省庁に陳情、要望活動をした事が報告されました。内容は

①今後の原子力政策について ②発電所の再稼働について ③電源交付金について

④安全規制について ⑤防災対策についてです。議長から、意見交換の状況が説明されましたが、ほとんどが一般紙に報道されている通りで、新規性は有りませんでした。又、嶺南の各市町が共同で中央省庁、県へ要望書を提出する件についても協議されましたが、個別の町単位での意見統一が計られていないところがあり、今後の動向を注視しながら対応する事としました。

公立小浜病院組合議会

平成24年度第1回公立小浜病院組合議会が2月23日から3月28日まで開会されました。2月23日に公立小浜病院組合長から、23年度事業会計補正予算、24年度事業会計予算、条例の一部改正3件、福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更についての6件が提出され、補正予算と組合規約の変更については全員で協議し可決されました。予算及び条例の一部改正3件の4議案は、常任委員会に付託され、3月2日に委員会を開催し審査を行いました。小浜病院もレイクヒルズ美方病院も経営は大変厳しい状況ですが、小浜病院では第3期工事が完了すると繰り延べ勘定も減少し、更に平成19年度に購入した医療機器20億分の減価償却が終了して行くため、25年以降は少しずつ赤字

額が解消されると見込まれています。レイクヒルズ美方病院は病院改革プランにおいて平成28年度に経常収支の黒字転換を達成する計画になっているとの事です。3月28日に4議案、すべて全員賛成で可決し議会は終了しました。(倉田記)

敦賀・美方消防組合議会



1月9日美浜消防団出初式に参列

去る3月27日、同議会が敦賀・美方消防組合本部で開催された。内容は平成23年度補正予算及び平成24年度当初予算についてであった。

東日本大震災を参考に防災対策の不備な点を改善する案や、平成24年度の活動内容等が決議された。(兵庫記)

嶺南広域行政組合議会

3月28日開催されました。各議案全員賛成で可決。

・平成23年度補正予算

県からの核燃料交付金の確定に嶺南地域振興促進基金に積み立てるもので、4億9,667万円の減額で、補正後の予算総額は6億8,797万円となりました。

した。

・平成24年度一般会計予算

主に舞鶴若狭自動車道の開通に向けた誘客促進事業に着手するほか小浜線の電化開業10周年記念事業、若狭町海士坂の有害獣処理施設の管理運営の一部を負担するため、当初予算は10億1,131万円となる。



4月4日に行われた嶺南地域有害鳥獣処理施設竣工式

対前年度比14.6パーセントの減となっています。
4月4日嶺南地域有害鳥獣処理施設竣工式が行われました。
(藤本記)

美浜・三方環境衛生組合

2月14日、美浜・三方環境衛生組合議会定例会が若狭町議場で開催されました。理事者側から各設備が順調に運転されている事の説明があり、提案される議案の説明が行われました。提出議案は「平成23年度美浜・三方環境衛生組合一

般会計補正予算」「平成24年度美浜・三方環境衛生組合一般会計」及び「福井県

市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少および同組合規約の変更に ついて」の3点であり、予算関係については無駄の排除、設備の適正保全等が議論され承認されました。

平成24年度は「美方し尿処理場」が稼働以来21年、更にそれに関連する前処理設備、汚泥処理施設及び高度処理設備が約26年経過、老朽化してきており、それらの施設整備検討業務を加速し、整備方針を作成するとの報告がありました。
(浜野記)

有害鳥獣対策特別委員会

有害鳥獣対策特別委員会は2月14日町議会委員会室で実施されました。平成24年度、有害獣侵入防止柵設置の件につい



嶺南地域有害鳥獣処理施設（若狭町海士坂）を見る

ては、実施済、24年度要望集落、設置検討集落、要望しない又は未回答集落の報告があり、24年度要望集落分の予算がどこまで獲得できるかが課題であるとの事でした。更に、防止柵の仕様について、

集落に説明し討論の余地はあるとの事でした。今年度の有害鳥獣の捕獲実績が報告されたのち、4月1日から供用開始される海士坂の有害獣処理施設までの捕獲、回収、運搬体制の説明がされました。その後、施設の建設状況を視察しました。焼却施設は8割ほど完成しており、焼却処理は4月から、食肉加工施設及び専用道路は24年度の事業として継続される予定です。
(浜野記)

全員協議会

担当の課長より2事業の説明を受けました。

○平成24年度美浜町給食センター学校給

食調理等業者について

(履行場所) 美浜町給食センター

(委託期間)

平成24年4月1日から

平成25年3月31日までの1年間

(委託する業務)

・給食調理業務

(町内7小学校、1中学校、

約850食/日、年間200日)

(業者選定)

プロポーザル方式で4社参加。その中から最優秀提案(優先交渉権者)1社

(所管事務所)

株式会社トージツフーズ敦賀事務所 (敦賀市東洋町)

(業務実績)

敦賀市学校給食センター調理業務4,900食/月、富山県南砺市中学校給食調理業務1,100食/月

(契約予定日) 平成24年4月1日

(債務負担限度額)

37,548千円(12月補正)

○美浜町生涯学習センター建設事業の進捗状況について

① 工事スケジュールと進捗状況

② 備品の選定

③ なびあす各事業の企画運営について

など現段階での説明があり、なお、コンサートピアノの選定については後日、再度説明を頂くことになりました。
(前田記)

その他活動 活動報告

美浜町・若狭町 議会振興協議会

1月26日三方ショッピングセンターレピ



両町にて協議会を開催
美浜町・若狭町協議会
共同の課題である有害鳥獣対策

ア会議室において、本年度の「美浜町・若狭町協議会」が両町全議員出席のもと開催された。

両町間で直面している諸課題を年一度の意見交換・討議する機会でもあり、森下・山口両町長はじめ、吉田・中川県議、五十嵐嶺南振興局長のご臨席を賜った。

今年の研修課題は「有害鳥獣対策」をテーマにし、はじめに本年4月にオープンの「嶺南地域有害鳥獣処理加工施設の整備状況について」若狭町中村企画情報課長から説明を受けた。引き続き両町の担当課長より「有害鳥獣対策の現在の取り組み状況」について詳しく説明があり、そのあと議員間で質疑・有意義な意見交換がなされた。
(前田記)

平成23年度 福井県原子力防災訓練

平成24年3月18日、若狭湾沖で地震が発生し、日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機において、全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、炉心損傷に至り排気筒から放射性物資が放出され

るおそれが生じたという想定で、福井県原子力防災訓練が行われました。

事故拡大の恐れがあることから、敦賀市原子力防災センターに現地災害対策本部を設置し関係町においても災害対策本部を立ち上げ、現地対策本部を中心に国、県、関係町はその対策についてテレビ会議が行われ、応急活動が実施されました。敦賀発電所を中心とした半径5km全方位(立石、浦底、色浜、手、白木地区)の住民に避難指示が出され、対象住民は船やバス、自家用車等で避難。避難所および救護所は、若狭町三方勤労者体育館で、次々と到着する敦賀市の住民に汚染の状況や聞き取り調査、スクーリングを行っています。また、体育館の外では自衛隊による簡易除染所や汚染された車を洗浄する、放射線等を測ることが出来る化学車(東日本大震災で福島県にも出動)等も展示されていました。



三方会場における訓練風景

(松田記)

美浜南小学校体育館落成式



完成した体育館

平成24年3月17日、美浜南小学校体育館の落成式が南小学校児童および関係者六十数名の参列の下、行われました。

以前の体育館は昭和46年に建築されたもので、40年を経過しており、文部省が定める危険物の是非を問う体力度調査において基準値を満たしていないということから、昨年より改築が行われていました。

体育館は、鉄筋コンクリート平屋建て、床面積約1,225㎡(旧体育館の約1.5倍)で、ミニバスケットボールコートが2面(バスケットボールコート1面)、バドミントンコート3面、バレーボールコート1面が取れます。また、トイレは男女別(外部兼用)と多目的トイレがあり、内部倉庫、外部倉庫各2部屋を備え、男女別更衣室各1室があります。平成23年度の卒業式は新しい体育館で行いたいとの思いから改築が進んでいましたが、19日には南小学校卒業生児童19名の卒業式が、新しい体育館で行われ児童

の顔も嬉しそうでした。

(松田記)

美浜町せせらぎ保育園 落成式

3月22日午前10時からせせらぎ保育園遊戯室で落成式が行われました。

まず、美浜町長より式辞、その後工事経過報告がされました。次に地権者、設計工事監理業者、建築工事施行業者の方々に感謝状が贈られました。多くの皆様のご協力頂きありがとうございます。来賓祝辞の後、せせらぎ保育園5歳・4歳園児によるお礼の歌が披露され大変感動いたしました。保育士さんの日頃のご苦労も見せていただいた気持ちで胸が熱くなりました。これからもよろしくお願ひします。

この園舎は、『木造、瓦葺、平屋建て』でぬくもりを感じる保育園となったと思えます。もうひとつ園庭(2,617㎡)の広い事が大変素晴らしいと思います。



せせらぎ保育園の落成式

せせらぎ保育園の園児たちこの素晴らしい環境でみんな仲良くおもしろく遊んでください。

(倉田記)

委員会構成が一部 変わりました

3月7日、第1回町議会定例会が開かれ、副議長に藤本悟議員を選出しました。また、議会における予算決算の審議機能の充実を図るため、新たに予算決算常任委員会を設けました。議会運営委員会及びの常任委員会の構成は次のとおりです。

議会運営委員会

会期の決定、議事日程など議会の運営に関することを協議します。

委員長
浜野 健治

副委員長
松坂 隆司

辻 健一郎、前田 義久
崎元 良栄、宮下 紀興

予算決算常任委員会

予算及び決算に関する事項で、付託された案件の審査・調査をします。

委員長
藤本 悟

副委員長
浜野 健治

飯田 豊、辻 健一郎、樋下 伸嗣
松田うめ子、中村 清一、前田 義久
北村 晋、倉田 愛子、竹仲 良廣
兵庫 賢一、山口 和治、崎元 良栄
宮下 紀興、松坂 隆司

総務文教常任委員会

財政、税、教育、広報に関する事項及び外の常任委員会の所管に属しない事項で、付託された案件の審査・調査をします。

委員長
浜野 健治

副委員長
松坂 隆司

辻 健一郎、松田うめ子、前田 義久
北村 晋、倉田 愛子、兵庫 賢一

産業厚生常任委員会

産業や医療、福祉、上下水道、健康づくりに関する事項で、付託された案件の審査・調査をします。

委員長
宮下 紀興

副委員長
竹仲 良廣

飯田 豊、樋下 伸嗣、中村 清一
藤本 悟、山口 和治、崎元 良栄

副議長就任に当たって

昨年3月に発生しました、東日本大震災から早や1年が過ぎました。災害で亡くなられた多くの皆様、行方不明の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を願ってやみません。今回の災害がもたらした被害の大きさを痛感いたします。

さて、私こと三月定例会において前田副議長

り、副議長の重責を担わせていただき

くことになりました。議長の後援として議会活性化、再開された議会をめざし誠心誠意努力いたします。今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 藤本 悟

編集後記



瑞林寺の桜(サクラサク)

美浜町「議会だより」も第9号を発行することになりました。議会各委員会の委員構成の変更に伴い、編集委員会も新たな布陣でのぞむ事になりました。町民の皆様、議会の活動内容がより身近に感じられる様に内容を充実させて行きたいと委員全員、張り切っていますのでよろしくお願い致します。「議会だより」への要望はアンケートでお寄せ下さい。

〈山口記〉

敦賀美浜地域開発協議会

敦賀美浜地域開発協議会の委員(両市町議員18名、教育委員会2名)は2月28日、有害獣捕獲後の適切な処分や食肉として有効利用している滋賀県高島市と、完成の近い嶺南地域有害鳥獣処理加工施設(若狭町)の視察研修を実施しました。

高島市朽木支所で施設と処理方法の説明を受けた後、現地にて見学を行いました。最初は高島市環境センターで、ここでは捕獲搬送された有害獣を破砕したのちコンベヤーで生ごみと一緒に焼却され

ていました。現在処理数は年間150頭前後との事です。次のシカ肉の加工場は猟友会に委託、処理、加工、貯蔵をして販売していました。

若狭町の処理場は、4月から供用開始の予定で、ここでは有害獣を個体のまま焼却するとの事でした。各処理場とも匂い、けむり、処理水等の漏出防止が施され、環境対策に万全を期しているとの事でした。

〈浜野記〉

美浜町議会広報特別委員会
【委員長】山口 和治
【副委員長】浜野 健治
【委員】松坂隆司・藤本 悟・倉田愛子・前田義久